

施工説明書

本施工要領書、及び取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品に定められた性能とその安全性を保証するものとします。

1 安全上の注意

1. 記号の説明

- 以下に示した注意事項は状況によって重大な結果（傷害・物損等）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事は、水道法、その他の地方自治体の法令、および地方自治体の条例、規則など各種法規に従って行ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客さまに説明してください。

	「してはいけません」 一般的な禁止記号です		「注意してください！」 必ず読んで、記載事項を守ってください
	「分解してはいけません」		「指示通りにしてください！」 一般的な行動指示記号です

2. 注意事項

-  修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因となります。
-  製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因となります。
-  湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。
-  同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因となります。
-  寒冷地では使用しないでください。
凍結により故障や水漏れする危険性があります。
-  温泉水には使用しないでください。
温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。
-  給湯の温度設定は 80℃以下にしてください。
水栓の故障またはやけどの防止になります。
-  各接続部は確実に接続してください。
確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

2 本製品の仕様と使用条件

給湯設定温度	80℃以下
使用可能水質	飲用可能な水道水（温泉水不可）
給水、給湯接続	G 1/2
取り付け条件	本体重量 11kg に十分耐えられる下地であること。

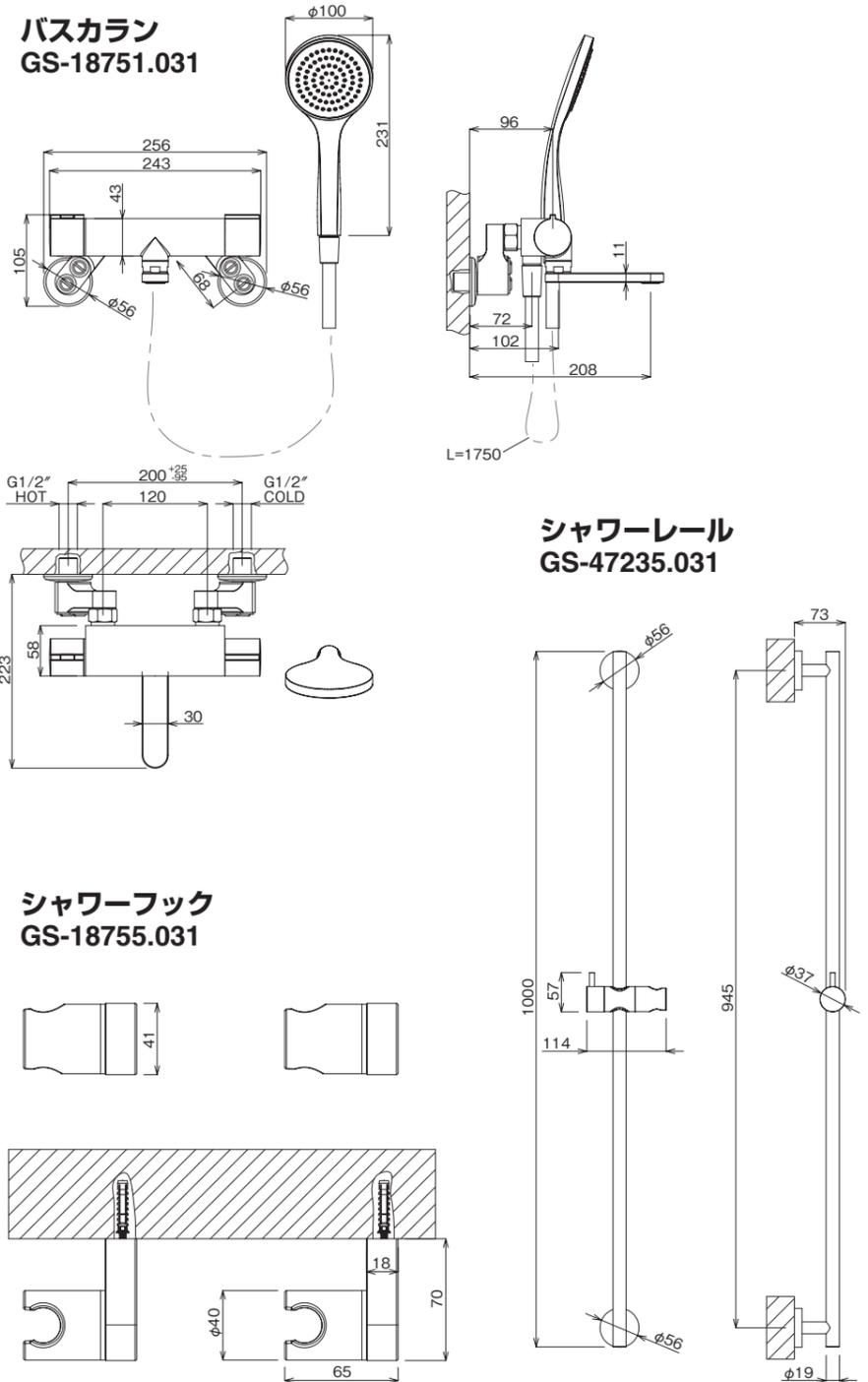
使用条件：

- * セーフティブロック 38℃
- * 使用最低温度 3℃以上—適温 15℃—給水
- * 使用最高温度 80℃以下—適温 65℃—給湯
- * 使用温度差 50℃以内 但し、内部の水を凍結させないでください。
- * 水または湯のどちらか一方が不足した場合でも給水をブロックする機能が付いた安全システム
- * 最低必要圧力 / 最高圧力: 0.05MPa/0.75MPa（給水圧力が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁を取り付けることをお勧めします。）
- * 給水圧力 0.3MPa を推奨。

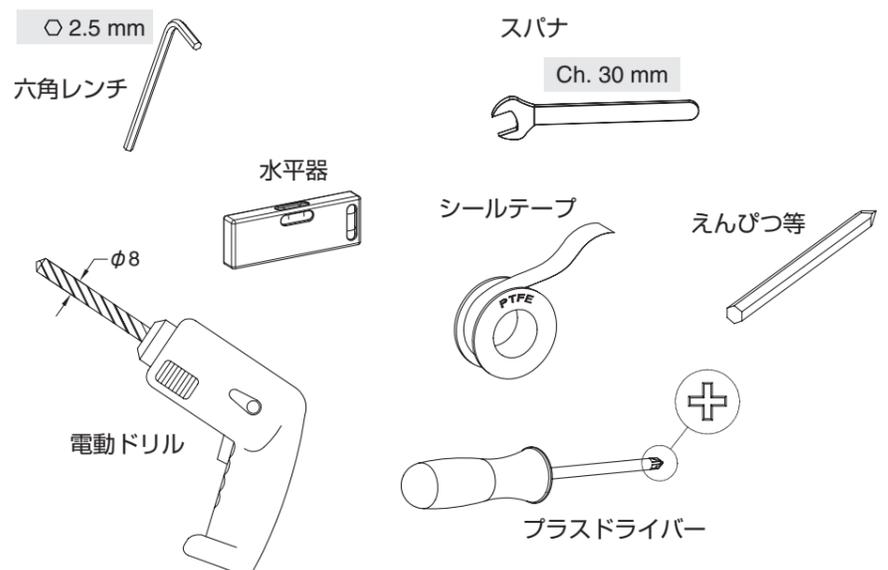
3 施工上の注意

器具を取りつける前に必ず給水・給湯管内のごみ、溶接時の破片や麻糸またはその他の異物が管内に残らないよう完全に
取り除き管内をよく洗い流してください。管内の不完全な洗
浄や一般の給水網を通して器具の中に異物が混入すると故障
の原因となることがあります。

寸法図



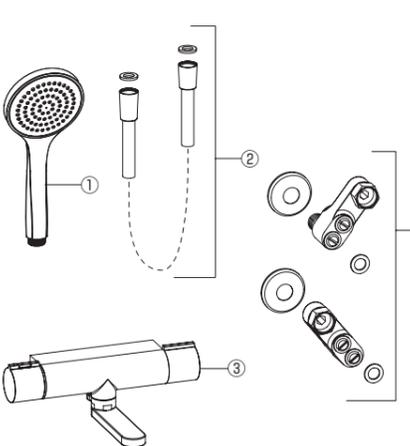
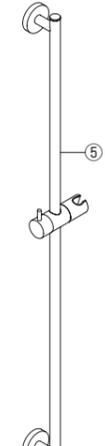
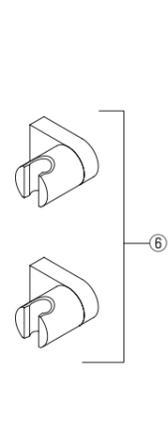
使用する工具



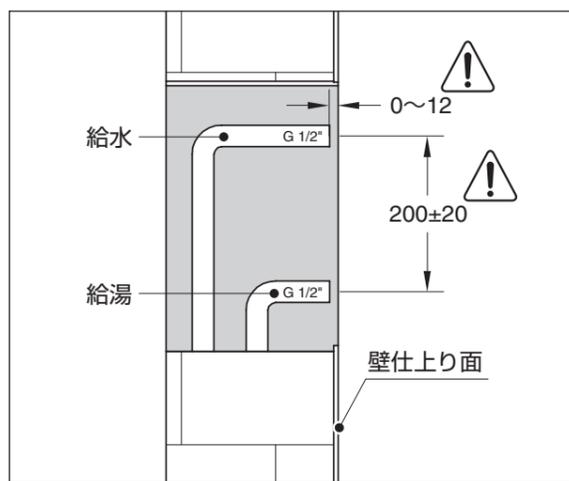
4 本体取り付けの前に

1. 梱包内容

梱包にはイラストのパーツが含まれています。開梱時にご確認ください。

GS-18751.031	GS-47235.031	GS-18755.031
		
① シャワーヘッド	⑤ シャワーレール	⑥ シャワーフック × 2
② ホース、パッキン × 2		
③ ミキサー本体		
④ [偏心継手、カバー、パッキン] × 2		

2. 給湯・給水管の配置について



注意
給湯・給水管の接続部と壁仕上り面の出入りは、+0 ~ -12mm の範囲にしてください。

注意
給湯管（左部）と給水管（右部）との距離を 150 ± 20mm 以内としてください。

3. 給水・給湯管内の清掃について

止水栓を取り付け後、当商品を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがカートリッジ等に詰まり、以下の事象が発生します。

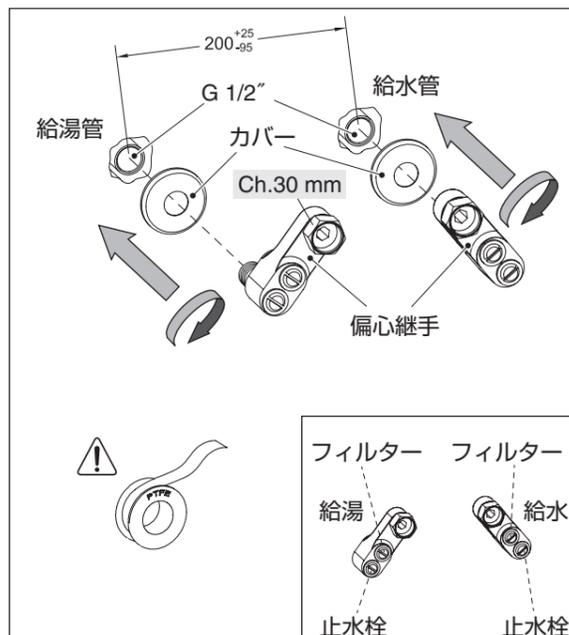
1. 吐水量が少ない
2. 温度調整がうまくできない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続し、止水栓を開閉してフラッシングを行い、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

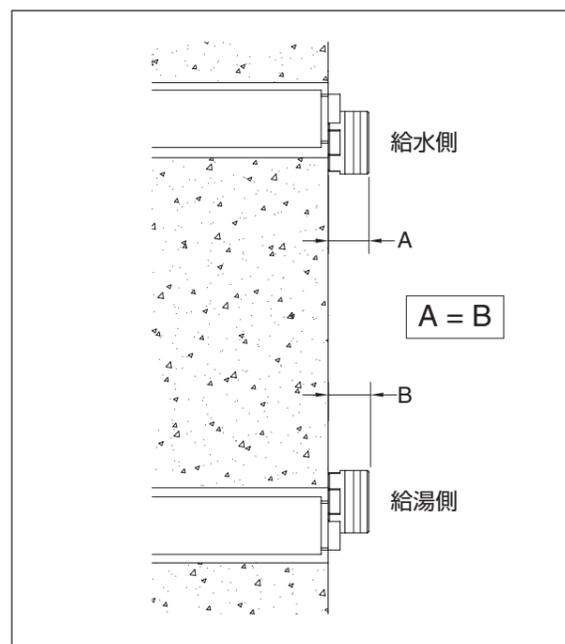
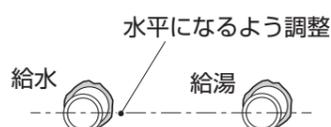
5 施工手順

1. ミキサーの取付



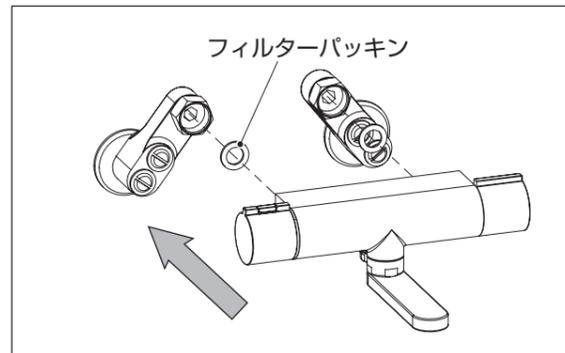
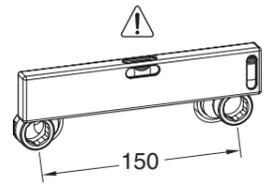
① 給湯・給水管にカバーをかぶせてから 30mm のスパナを使用して偏心継手を取り付けます。

注意
接続部はシールテープ等をご使用ください。

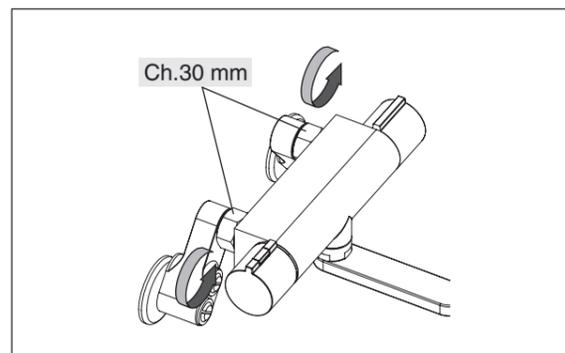


② 給湯側、給水側それぞれの偏心継手の壁面との納まりが、同じになるように接続してください。
(A = B)

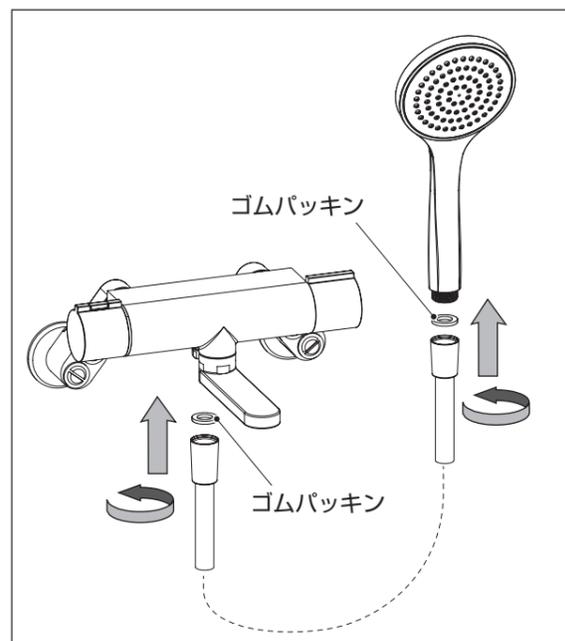
注意
給湯側、給水側偏心継手の取付位置が水平であることを確認してください。



③ フィルターパッキンを忘れずに使用してミキサー本体を取り付けてください。

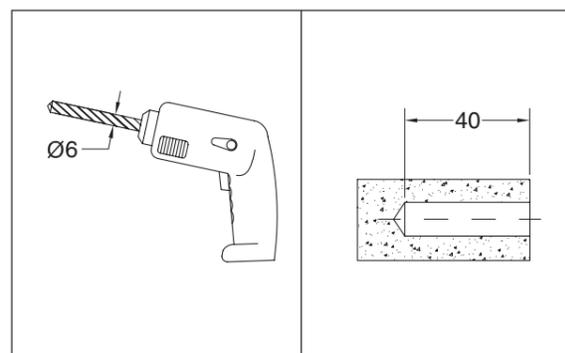


④ 30mm のスパナを使用してナットを締め込み、継手とミキサーをしっかり接続します。

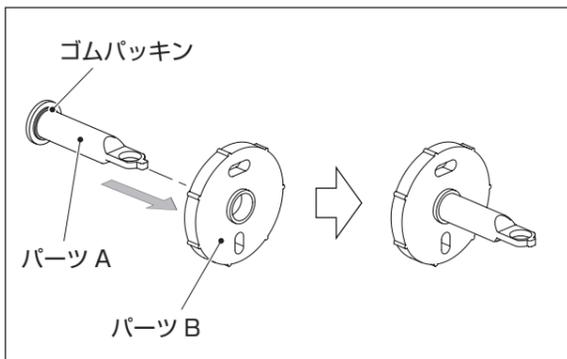


⑤ ミキサー本体とホース、ホースとシャワーヘッドそれぞれにゴムパッキンを入れて取付けます。

2. シャワーレールの取り付け

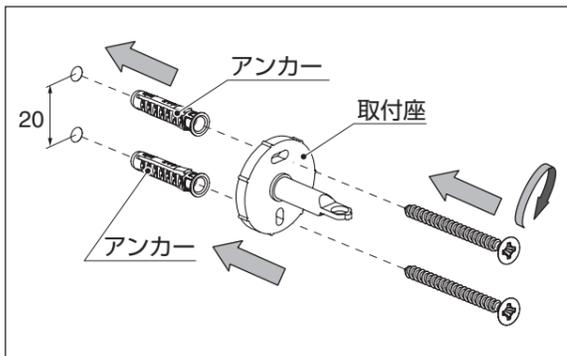


① シャワーフック取り付け用の穴 (φ6mm 深さ 40mm) をドリルを使用して開けます。

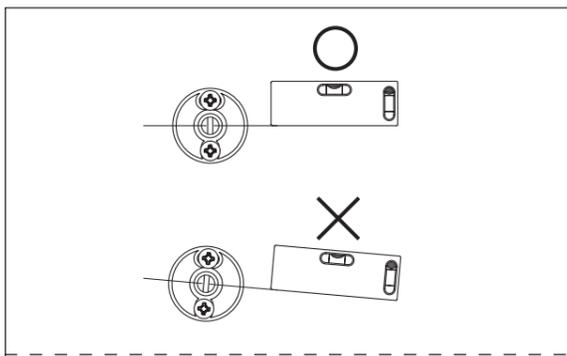


② 取付座パーツ A と B を図のように組み立てます。

注意
取付座パーツ A にゴムパッキンが付いていることを確認してください。

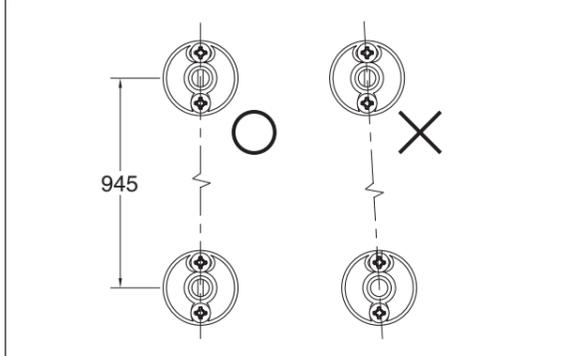


③ 開けた穴にアンカーを挿入し、②で組み立てた取付座をスクリーブビスで仮止めします。

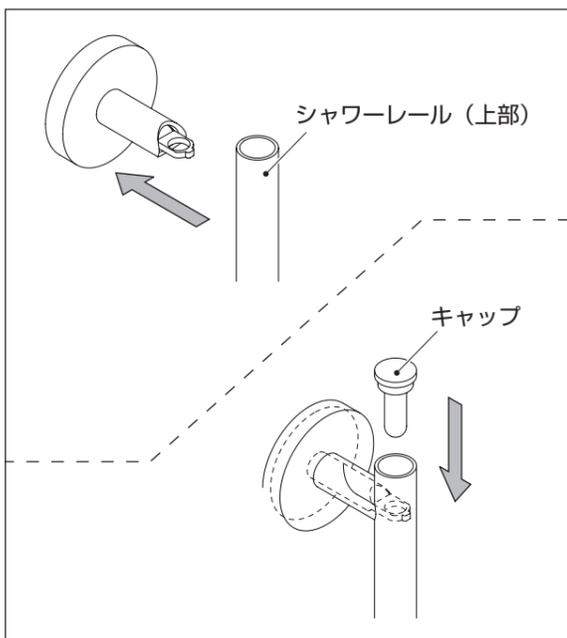
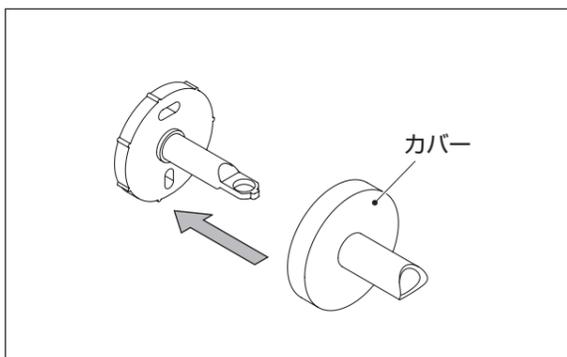


④ 取付座は水平になるよう取り付けてください。また、上下の取付座は垂直になるよう取り付けてください。

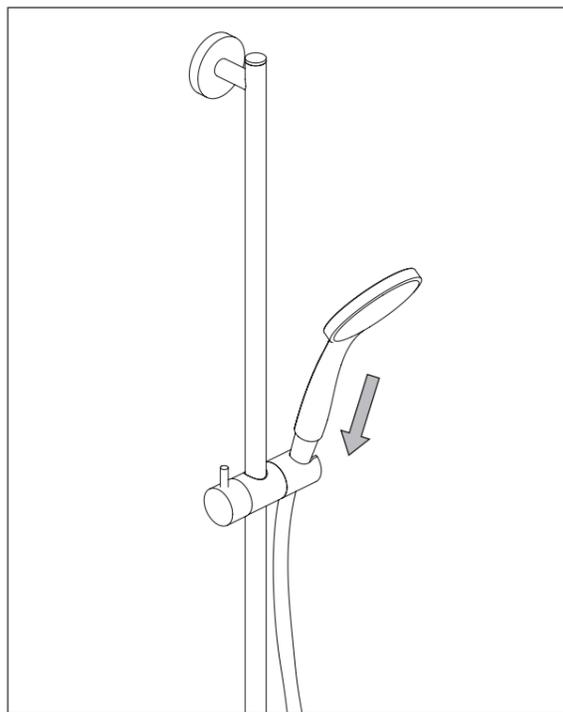
取付座の位置が確認できたら、スクリーブビスを締め込みしっかりと固定してください。



⑤ 取付座にカバーを取り付けます。



⑥ r シャワーレールを上下の取付座に取り付け、キャップをシャワーレールの上下に押し込んでしっかり固定します。



⑦ シャワーホルダーにシャワーを掛けて完成です。

6 引き渡し前の確認

工事が終了したら、各部にゆるみがないか確認し、湯・水の止水栓を開けエアレーターを清掃して、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。

現象	点検内容	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	② 使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	配管の系統を確認する
水が止まらない	ゴミかみはないか？	ハンドルと止水栓の開閉でフラッシングをする
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	② 使用条件参照
	流量調節はよいか？	止水栓で流量の調節
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	⑤ -1 ミキサーの取り付け参照
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	固定ビスを締め直す